

お申し込みの前にご確認ください

- 平成30年度の対象年齢です。
(50～68歳の偶数年齢・平成31年3月31日時点)
- 平成30年度の胃がん検診はエックス線検査、
内視鏡検査のどちらか一方しか受診できません。
- 胃内視鏡検査の受診間隔は2年に一度です。平成30
年度に胃内視鏡検査を受診されると、来年度は、胃
エックス線検査も含め、胃がん検診を受診するこ
とはできません。
- 胃内視鏡検査の利益、不利益を理解しました。
- 生活保護を受給されている方は必ず申し込みの前に
担当のケースワーカーに相談をしてください。

次の方はお申し込みを

ご遠慮ください

- 胃の手術(全摘術)を受けた方
- 胃の疾患で治療・経過観察中の方
- 妊娠中、またはその可能性がある方
- 内視鏡を挿入できない方
- 呼吸不全・心疾患・血圧の極めて高い方
- 明らかな出血傾向、または疑いのある方
(抗血栓薬を服薬中の方)

これから受ける検査のこと

胃がん内視鏡検診



胃がん内視鏡検診に関するお問い合わせ先

八王子市医療保険部成人健診課

〒192-8501八王子市元本郷町三丁目24番1号

電話：042-620-7428

FAX：042-621-0279

参考：国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援部
検診実施管理支援室が、厚生労働省行政推進調査事業費補助金
「検診効果の最大化に資する職域を加えた新たながん検診精度
管理手法に関する研究」班の協力を得て作成した資料

胃がん検診について

自治体で推奨している胃がん検診には、「死亡率を減少させることが科学的に証明された」胃内視鏡検査と胃エックス線検査があります。今回、この通知が届いたあなたは、胃内視鏡検査と胃エックス線検査、どちらかの受診を選択することができます。

※胃エックス線検査は、発泡剤（胃を膨らませる薬）とバリウム（造影剤）を飲み胃の粘膜を観察する検査です。ご希望の場合は毎月1日号（12月1日号まで）の広報はちおうじをご確認のうえ、市にお申し込みください。

胃内視鏡検査の利益・不利益

胃内視鏡検査は、胃の中の小さな病変も発見することができ、胃エックス線でがんが疑われた場合の精密検査としても用いられる優れた検査です。

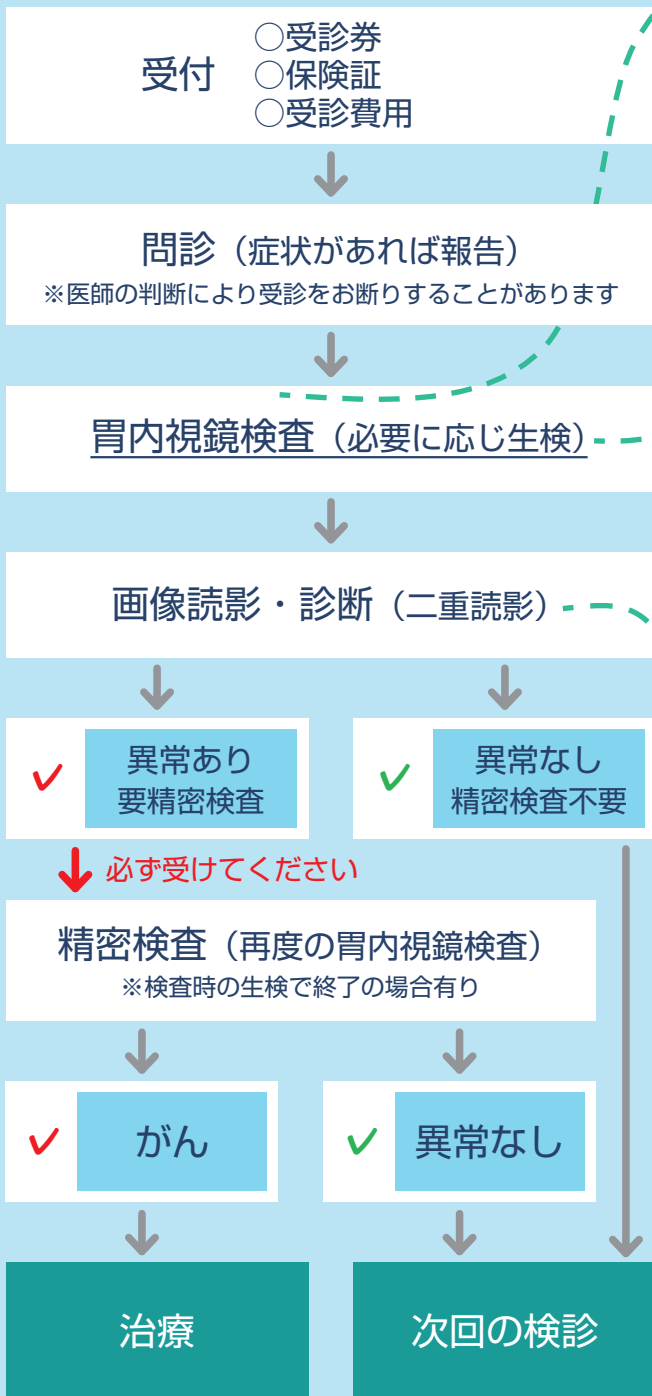
一方で、少なからず身体に負担がかかり、偶発症の発生する恐れがある等の短所もあります。

○偶発症症例

（全国調査による発生件数：78件/10万件）

- ・胃内視鏡により粘膜に傷がつくことや、出血、穿孔(穴があくこと)
- ・生検実施による出血、穿孔
- ・薬剤によるアレルギー(呼吸困難、血圧低下など)
- ・検査前からあった疾患の悪化
(症状の出ていなかった疾患も含む)

胃がん内視鏡検診受診の流れ



胃内視鏡検査

口または鼻から胃の中に内視鏡を挿入し、胃の内部を観察する検査です。

- ・検査当日は朝食が食べられません。
- ・常用薬、アレルギーがある場合はご相談ください。
- ・胃の動きを抑える注射や、喉の麻酔を行います。
- ・内視鏡の挿入ルート（経口・経鼻）、鎮静剤の使用については、医療機関にご相談ください。

生検

検査で疑わしい部位が見つかった場合は、組織の一部を採取し、悪性かどうかを調べる、生検を行う場合があります。

生検を実施した場合、生検については保険診療扱いとなり、受診費用とは別に請求があります。受診の際は必ず健康保険証を持参してください。

※生検は保険診療となるため、生活保護を受給中の方は、必ず事前にケースワーカーに相談してください。

二重読影

検診を実施する医療機関で撮影された内視鏡画像は、全て八王子市医師会内に設置された検診委員会に持ち込まれ、異なる複数の医師がチェック（二重読影）を行います。

定期的な検診の受診を

検診で全てのがんが見つかるわけではありません。検診と検診の間に発生するがんがあったり、見つけにくいがんもあります。検診は定期的に受診することが大切です。胃の痛み、不快感、食欲不振、食事がつかえるなどの症状がある場合には、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。